

# 令和6年度第2回白馬村地域公共交通検討委員会

報告（Ⅰ）令和6年度第2回白馬村地域公共交通検討委員会  
の指摘点について

令和6年12月

## ■第2回白馬村地域公共交通検討委員会 意見要旨

No.	意見等	回答
<b>1. 前回指摘事項について</b>		
① 高瀬委員	<p>1. 分析期間の1週間なのだが、居住地の判定を決めるための1か月という期間は、いつか。</p> <p>2. 調査結果の実人数はわかるのか。</p> <p>3. 施設への来訪者分析について、ふれAI号を使っていない人たちがどの移動手段でどこへ移動しているかがわかるとよい。</p>	<p>1. その直近1か月、2024年7月1日~2024年7月31日の最頻滞在地を居住地としている(サービスの仕様より)</p> <p>2. 実人数は公表されていない。</p> <p>3. 施設への来訪者分析においては居住地の判別のみで移動手段・年齢別の区別はできない。</p> <p>当初予定していた人流分析では、人の流動が十分把握できないため参考資料に留め、ふれ愛号とふれAI号の個人データの公開可能な範囲で人の流れ(特に75歳以上の高齢者)を分析して補完した。</p>
<b>2. 公共交通を取り巻く課題と今後の方向性について</b>		
② 高瀬委員	ふれAI号の利用者ODについて、75歳以上だけでなく、全年齢を対象とした整理を追加する。	全年齢を対象としたOD図を追加した。(80ページ)
③ 太田委員	<p>1. 乗り継ぎ拠点において、施設等への行き方について聞かれることが多い。その点を加味してほしい。</p> <p>2. 「福祉輸送」の表現は誤解を招くため、「福祉関係輸送」などとした方がよい。</p>	<p>1. 各乗り継ぎ拠点において、情報提供の拡充やより効果的な提供方法の検討を行う旨を追加。(92ページ)</p> <p>2. 「福祉輸送サービス」と表現する。</p>
④ 高瀬委員	<p>1. 課題での図・グラフ等の表現が分かりづらい。</p> <p>2. 課題の図で、「中山間地の移動制約者へのふれAI号の普及」とあるが、車両不足が懸念され、深堀し運行方法等を検討する必要がある。</p>	<p>1. 課題整理における図・グラフの表現を分かりやすく整理した。(88ページ等)</p> <p>2. 表現を改め、課題を整理した。中山間地における公共交通の考え方については、福祉輸送サービスも含め今後の検討課題としている。(96ページ、107ページ)</p>
⑤ 横川委員	村の玄関口である白馬駅と白馬八方バスターミナルは同列として考えているのか。	白馬駅と白馬八方バスターミナルを村の玄関口とし、その他の駅と主要バス停を地区への窓口として位置づけている。(97ページ)

⑥ 工藤委員	ふれ AI 号について、現状として乗合がうまくいっていない。課題として整理してほしい。	ふれAI号の利用ODの分析で、一般タクシーに近い利用のされ方をしているということを指摘している。(79 ページ) 村の公共交通の課題の中で、利用者の共助を促す施策の推進という表現で整理している。(95 ページ)
⑦ 高瀬委員	幹線交通や支線交通の整理がわかりにくい。位置づけなどを整理する必要がある。	交通システムごとの整理とそれぞれの考え方をまとめ、わかりやすくした。(97 ページ)